

みずほCustomer Desk Report 2016/04/07 号(As of 2016/04/06)

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】					公示仲値		110.42
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD	
TKY 9:00AM	110.38	1.1381	125.61	0.9570	1.4157	0.7544	
SYD-NY High	110.64	1.1432	125.84	0.9621	1.4171	0.7621	
SYD-NY Low	109.34	1.1327	124.88	0.9533	1.4006	0.7533	
NY 5:00 PM	109.79	1.1399	125.16	0.9559	1.4125	0.7599	
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			11.44/11.9	△ 25RR	1.320	Yen Call Over	
NY DOW	17,716.05	112.73	債券市場	日本2年債	-0.2290	▲1.1bp	
NASDAQ	4,920.72	76.78		日本10年債	-0.0580	▲0.5bp	
S&P	2,066.66	21.49		米国2年債	0.7317	1.2bp	
日経平均	15,715.36	▲ 17.46		米国5年債	1.1981	2.3bp	
TOPIX	1,267.75	▲ 0.62		米国10年債	1.7549	3.5bp	
シカゴ日経先物	15,790	125.00		独10年債	0.1190	2.1bp	
ロンドンFT	6,161.63	70.40		英10年債	1.3810	0.6bp	
DAX	9,624.51	61.15	為替市況	豪10年債	2.4340	▲1.7bp	
ハンセン指数	20,206.67	29.67		USD/CNH	6.4822	▲ 0.0032	
上海総合	3,050.59	▲ 2.47		ドルインデックス	94.51	▲0.13	
USDJPY 3M Vol	11.29	0.03%	商品市況	CRB指数	167.525	2.30	
USDJPY 6M Vol	10.90	▲0.01%		NY金	1,223.800	▲5.80	
EURJPY 3M Vol	11.69	0.11%		WTI	37.750	1.86	
EURJPY 6M Vol	11.30	0.04%		Dubai Spot	34.92	1.11	

東京	東京時間のドル円は、110.38レベルでオープン。仲値にかけはドル買い戻しが先行し、ドル円は一時110.57まで上昇するが、日経平均が急速に下落する展開を見せると、リスク回避的な円買いが強まり110.26まで下落。その後、発表された財新・中国3月PMIはサービス業・総合共に節目の50を上回ると小幅にリスクセンチメントが改善し、日経平均はプラス圏を回復。ドル円は東京時間高値110.64をつける。しかし、午後に入るとドル円の反発の勢いは衰え、再びドル売りが優勢となると、じりじりと値を下げ、110.24をつけた後、結局110.40レベルで海外市場へ渡った。(東京 15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.40レベルでオープン。菅官房長官の「為替市場の動向を、緊張感をもって注視する」との発言を受け、110.54まで買われるも、自民党・橋本議員の「もう少し様子を見た方がよい」との発言等もみられ、110.32まで反落。結局、オープンと同水準でNYへ渡った。ユーロドルは、1.1356レベルでオープン。米製薬会社による欧州同業大手買収計画断念の報道(関係筋)を受け、ユーロ買い期待が剥落したことや、ギリシャ債務問題等が意識され、1.1327まで下落。1.1345レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は110.40レベルでオープン。朝方は、特段のニュースが見当たらない中、海外市場で買い戻されたドルが売り戻される展開に、ドル円は110円丁度を下げると短期的なストップを巻き込み、前日の安値109.92を抜け、109.83まで下落する。しかし、前日同様、目新しいニュースも噂も聞こえてこない中、急速にドル買い戻しが強まり、110.43まで戻す。その後は米週間石油在庫統計で、予想に反し在庫減が発表されたことから軟調な株式市場がエネルギー関連株を中心に切り返す一方、ドル円の上値は重く、再びドル売りが優勢となり、109.83を抜けると一段安となり、109.54まで下落する。午後は、FOMC議事録発表を控え109.70付近での推移が続く。議事録では、より長期的なインフレ低下リスクが強まっている中、ドル高により更なる追加のインフレ低下リスクがあることが指摘され、数人(several)のメンバーが4月に急いで利上げすることは適切ではないと主張したことが明らかになり、再びドル売りが強まり109.34まで下落する。終盤に掛けてはショートカバーにやや値を戻し、109.79レベルでクロスした。一方、海外市場でドル買いが強まったことからじり安で推移し、1.1327まで下落したユーロドルは、1.1345レベルでNYオープン。朝方から海外市場で買われたドルが売り戻される展開に、ユーロドルは下値を切り上げ1.1401まで戻す。その後は利益確定の売りが強まったことから1.1368まで反落するが、再びドル売りが強まったことから1.1432まで上昇する。午後はFOMC議事録を受けたドル売りが強まるものの、1.14台では利食い売りもあり、終盤に掛けてはじり安で推移し、1.1399レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 高野・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	中	Event	結果	予想
4月6日	10:45	中	財新・サービス業PMI/総合PMI	3月 52.2/51.3	-/-
	14:00	日	景気先行指数/一致指数	3月 99.8/110.3	99.8/110.3
	15:00	独	鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 -0.5%/1.3%	-1.8%/0.4%
	20:00	米	MBA住宅ローン申請指数	4/1週分 -	-
4月7日	3:00	米	FOMC議事録公表	3/15-16分 -	-

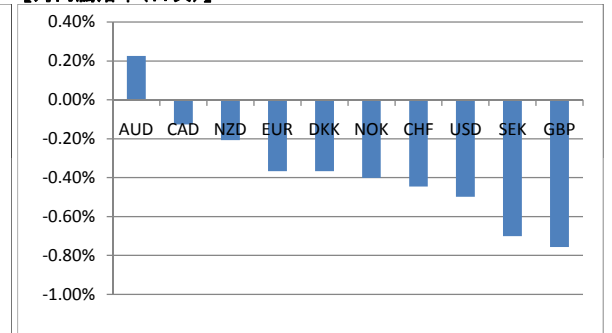
【本日の予定】

Date	Time	中	Event	予想	前回
4月7日	8:50	日	対内及び対外証券投資	4/1週分 -	-
	9:00	米	カプラン・ダラス連銀総裁、講演	-	-
	9:30	日	黒田日銀総裁、全国支店長会議挨拶	-	-
	16:00	欧	コンスタンツェECB副総裁、議会証言	-	-
	20:30	欧	ECB理事会、議事要旨公表	3/10分 -	-
	21:30	米	新規失業保険申請件数	4/2週分 270K	276K
	22:30	-	IMF世界経済見通し公表	-	-
	-	中	外貨準備高	3月 \$3196.0B	\$3202.3B
4月8日	6:30	米	イエレンFRB議長、討論会	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.20-110.40	1.1350-1.1450	124.20-125.80

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円は下落。アジア時間に発表された中国経済指標の良好な結果を受け、110.64まで上昇したドル円は海外時間に入りドル安圧力が高まる中、109.83まで下落。原油、米株式市場の反発を受け、一時110.43まで連れ高となるも、米FOMC議事録のハト派的な内容を受け109.34まで下値を広げ、109.79付近でクローズした。本日のドル円は軟調な展開を予想する。原油相場の反発や、堅調な米株式市場を背景に市場のリスクセンチメントは落ち着きを見せているが、足許のドル安基調や円高進行を背景とした本邦株式市場の地合いの悪さに変化はない。引き続きドル円は上値の重い展開となりそうだ。